

輸出製品技術支援センターの特別セミナー

国際化推進室 輸出製品技術支援センター(MTEP[※])では、中小企業の皆さまの海外展開を支援するため、海外規格の基礎講座やグローバル人材育成講座など、無料の技術セミナーを開催しています。また、技術文書の作成方法などの実践型セミナーを有料で開催しています。これらの受講者からは、海外現地の最新情報や、ものづくりの基本指針となる安全設計の基本概念に関するセミナー開催の要望が多く寄せられています。今回は、はじめて欧州から特別講師を招聘して開催する「世界に通用するものづくりセミナー」のご案内と1月に開催したセミナーをご紹介します。

※ MTEP: Metropolitan Technical Support Network for Export Products の略で、広域首都圏公設試験研究機関(東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県、横浜市)が連携して実施する中小企業のための海外展開支援サービスです。

開催案内 世界に通用するものづくりセミナー

新EMC指令と新RE(無線機器)指令

欧州(EU)市場に製品を輸出するためには、EUの製品規格に適合したものが求められます。

今年度の初めに改訂のあったEUの法規制の中で、EMC^{※1}指令とRE^{※2}指令の2つの内容について、フォーカスしたセミナーを開催します。

本セミナーでは、EMCおよびRE指令を開発した際の交渉に参加するとともに、世界中の適合性評価機関等のトレーニングにも携わってきた Jan Coenraads 氏を欧州より招聘し、現地からの最新動向を解説します。指令改正のポイントや、新指令で求められるリスクアセスメントへの対応について紹介いたします。

※1 EMC: Electro-Magnetic Compatibility 電磁両立性

※2 RE: Radio Equipment 無線機器

開催概要

講師	Jan Coenraads 氏
日時	平成 29 年 3 月 21 日 (火) 13:30~16:40
場所	秋葉原コンベンションホール 東京都千代田区外神田 1-18-13 秋葉原ダイビル 2F JR 秋葉原駅 (電気街出口) 徒歩 1 分
受講料	無料
定員	100 名
申込方法	都産技研ホームページまたは FAX (03-5530-2516) よりお申し込みください。
言語	英語 (同時通訳あり) 配布資料は講師から提供された英語版を 日本語に訳し、提供する予定です。

「世界に通用する安全なものづくりセミナー 安全設計の基本概念」開催報告

安全な製品をつくることは、ものづくり企業において重要課題の一つです。特に、製品安全に関する海外の法規制は、日本に比べて厳しい対応が求められます。EUのCEマーキング制度では、新EU指令によりリスクアセスメントの要求が強制されています。

1月25日(水)に、安全学、情報学、論理学が専門である明治大学名誉教授 向殿 政男 氏によるセミナーを開催しました。安全の原点となる国際規格: ISO/IEC Guide 51における安全の定義から、リスクアセスメントや機能安全、信頼性と安全性など、幅広い安全設計の考え方について、解説いただきました。

